



化学製品
製造

ナガセケムテックス株式会社

所在地 / (姫路オフィス) 姫路市西駅前町73 姫路ターミナルスクエア6F
TEL.(本社)06-6535-2582 <https://group.nagase.com/nagasechemtex/>
設立 / 1970(昭和45)年4月1日 従業員数 / 690名(2026年4月現在)




もっと、くわしく
見てみよう!

暮らしを豊かにする「化学」の仕事とは?

化学の力で、未来の暮らしを豊かにする高機能な製品を世界中に届けています

半導体や自動車、日用品など、社会に欠かせない化学品を開発・製造し、国内外に届けています。先端半導体材料の開発に加え、ライフサイエンスやアグリ(農業)分野でも新たな事業の柱の育成に努めています。たつの市には中心的な生産拠点の播磨事業所があり、姫路オフィスは、会社の他拠点や外部の人が交流できる場所となっています。

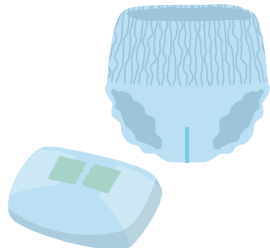


播磨事業所(たつの市)

どんな製品をつくっているの?

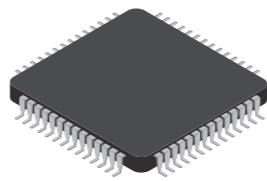
培ってきた技術をいかし、暮らしや産業を支える素材・材料をつくっています

快適な暮らしを支える




おむつの吸収力を高める素材に、私たちの製品が使われています。赤ちゃんや介護が必要な人の快適な暮らしを支えています。

情報社会を支える



スマートフォンやパソコンなどに使われる半導体チップを保護する材料をつくっています。熱や湿気、衝撃などから電子部品を守り、機器の安定した動作を支えています。

自動車の安全な走行を支える



複数の部材を接着してつくられる自動車のタイヤ用接着剤をつくっています。車の安全な走行を支えます。

医療の現場を支える



体に有害な物質を取り除く技術などをいかし、人工血管や止血剤などの材料をつくり、医療の現場で活用されています。

持続可能な農業を支える



微生物を活用した土壌改良材を開発しています。少ない肥料や水でも豊かに実る農業の実現が期待されています。

どんな職種があるの?

それぞれの職種の技術力をいかし、協力しながら製品づくりに取り組んでいます

研究開発



「研究の積み重ね」から最先端の技術や社会の課題を解決する新しい技術を生み出し、未来の暮らしと産業を支えます。

製造



研究開発で生まれた素材を、しっかりと整えられた設備で製品へとつくり上げます。高い精度と品質を大切にしています。

品質管理



妥協のない姿勢で製品を検査し、高い品質を守る役割を担っています。お客様の信頼に応えます。

どんなことを大切にしているの?

化学の力で社会の課題を解決し、人と地球が共生できる未来を目指しています

環境を守る「きれいなものづくり」



浄化した排水の貯水槽。魚が泳いでいます

技術で「豊かな未来」を切り拓く



一人ひとりが輝く「幸せな職場」



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
A13190

環境への負荷を最小限に抑え、排水は魚が泳げるほどきれいに浄化してから自然に返すなど、地球にやさしい工場運営を行っています。

環境対応やイノベーション創出など、世界の課題に、独自の素材と研究開発で挑み、人々の暮らしをより豊かにすることを目指しています。

安全と健康を最優先に、仕事とプライベートを両立できる環境を整え、働きやすい職場づくりを大切にしています。

働く人の声を聞いてみよう!

Q&A



播磨事業所 生産第1部 製造第2課 黒田 遼太さん

Q.この仕事を選んだ理由は?
生まれ育った地域で、家族や知り合いがみんな知っていて、信頼されている会社だと思ったのがきっかけです。歴史のあるこの工場で、世の中の役に立つ製品を自分の手でつくることに魅力を感じ、胸を張って働けるこの仕事を選びました。

Q.どんな人がこの仕事に向いている?
チームで働く仕事なので、話すのが好きな人や、ルールをしっかり守れる人が向いています。何があっても「頑張ろう!」と思える前向きな気持ちがあれば、きっとこの仕事の楽しさややりがいを見つけられます。



播磨事業所 製品開発第1部 グリーンマテリアル課 松村 祐美さん

Q.この仕事を選んだ理由は?
もともと化粧品に興味があり、身近な暮らしに役立つものをつくりたいと化学の道を選びました。実験は、レシピを少し変えるだけで全然違うものができたり、予想外の結果が得られたりと、毎日ワクワクの連続です。発見がたくさんあり、飽きることがないのが楽しいです。

Q.どんな人がこの仕事に向いている?
「観察するのが好きな人」や「粘り強い人」です。研究は予想外の結果の連続ですが、そこで諦めずに「どうすればもっと使いやすくなるか」と、使う人のことを考えて工夫を楽しめる人が向いていると思います。